

2019年全国家計構造調査

富山県の二人以上の世帯の家計収支に関する結果の概要

総務省統計局より、「2019年全国家計構造調査 家計収支に関する結果」が公表されました。本県分(二人以上の世帯)の概要は次のとおりです。

今回調査結果の主なポイント

- 二人以上の世帯
 - 1か月平均の消費支出 298,056円で全国第2位
- 二人以上の世帯のうち勤労者世帯
 - 収入
 - 1か月平均の実収入 560,554円で全国第7位
 - 1か月平均の可処分所得 468,332円で全国第3位
 - 1か月平均の消費支出 289,241円で全国第19位

～全国家計構造調査の概要～

1 調査の目的

全国家計構造調査は、家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的とする基幹統計調査。1959年(昭和34年)以来5年ごとに実施してきた「全国消費実態調査」を全面的に見直して実施するものであり、2019年(令和元年)調査は通算で13回目に当たる。

2 調査の期間 2019年10～11月の2か月間

3 調査の対象

(1) 調査市町村 富山県内10市1町1村

富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、朝日町

(2) 調査世帯

	基本調査	簡易調査	家計調査世帯 特別調査	個人収支 状況調査	計
総数	564	660	96	14	1,334
うち二人以上世帯	470	550	90	14	1,124
うち単身世帯	94	110	6	—	210

※ 家計収支に関する結果については、太枠が集計対象。

4 今後の公表予定

「所得に関する結果」及び「家計資産・負債に関する結果」については、令和3年4月頃に公表予定。

5 その他

前身である全国消費実態調査とは調査方法が異なるため、比較には注意を要する。

結果の概要

1 二人以上の世帯の消費支出

(1) 概況

消費支出は 298,056 円で、全国第 2 位

二人以上の世帯の 2019 年 10～11 月の 1 か月平均（以下、1 か月平均という。）消費支出は 1 世帯当たり 298,056 円で、全国第 2 位となった。2014 年（2019 年調査の集計方法による遡及集計数値を利用。以下同様。）と比較すると、名目 6.8%の減少、実質 10.1%の減少となっている。

消費支出に占める費目別購入割合をみると、「食料」（27.5%）、交際費などの「その他の消費支出」（18.6%）、「交通・通信」（15.5%）が高くなっている。

また、費目別割合を 2014 年と比較すると、「食料」、「保健医療」などが上昇しており、一方で、「交通・通信」、「その他の消費支出」などが低下している（表 1、図 1）。

表 1 費目別消費支出（二人以上の世帯）

項 目	富 山 県				増減率 (%)		全 国 2019年
	2014年（遡及）	順位	2019年	順位	名目	実質	
世 帯 人 員 (人)	3.30	4	3.17	6	—	—	2.98
有 業 人 員 (人)	1.68	3	1.72	2	—	—	1.50
世 帯 主 の 年 齢 (歳)	58.8	7	60.0	9	—	—	58.1
消 費 支 出 (円)	319,639	1	298,056	2	-6.8	-10.1	279,066
食 料	75,723	13	81,894	4	8.1	-2.8	76,646
住 居	16,289	22	17,303	20	6.2	1.1	19,702
光 熱 ・ 水 道	24,592	7	25,219	3	2.5	1.3	20,378
家 具 ・ 家 事 用 品	11,724	7	8,747	42	-25.4	-23.3	9,915
被 服 及 び 履 物	11,713	32	11,804	10	0.8	-1.3	11,119
保 健 医 療	11,148	42	14,385	17	29.0	21.8	14,188
交 通 ・ 通 信	60,040	1	46,299	7	-22.9	-19.8	40,558
教 育	10,049	20	7,643	24	-23.9	-28.4	11,232
教 養 娯 楽	30,085	7	29,224	8	-2.9	-7.3	27,284
その他の消費支出※	68,276	1	55,537	4	-18.7	-21.6	48,045
エンゲル係数 (%)	23.7	47	27.5	23	—	—	27.5

※「その他の消費支出」…交際費、仕送り金、理美容用品、たばこ、身の回り用品など

注 1 2014 年調査の遡及数値について

2014 年調査では家計簿調査の調査期間が 9～11 月の 3 か月間であったが、今回（2019 年）の調査から 10～11 月の 2 か月間となる等、調査内容が変更となったため、2014 年調査の結果については、「2019 年調査の集計方法による遡及集計」を用いている。

なお、遡及前の数値（富山県分）については以下のとおり。

消費支出 321,178 円（全国第 2 位）

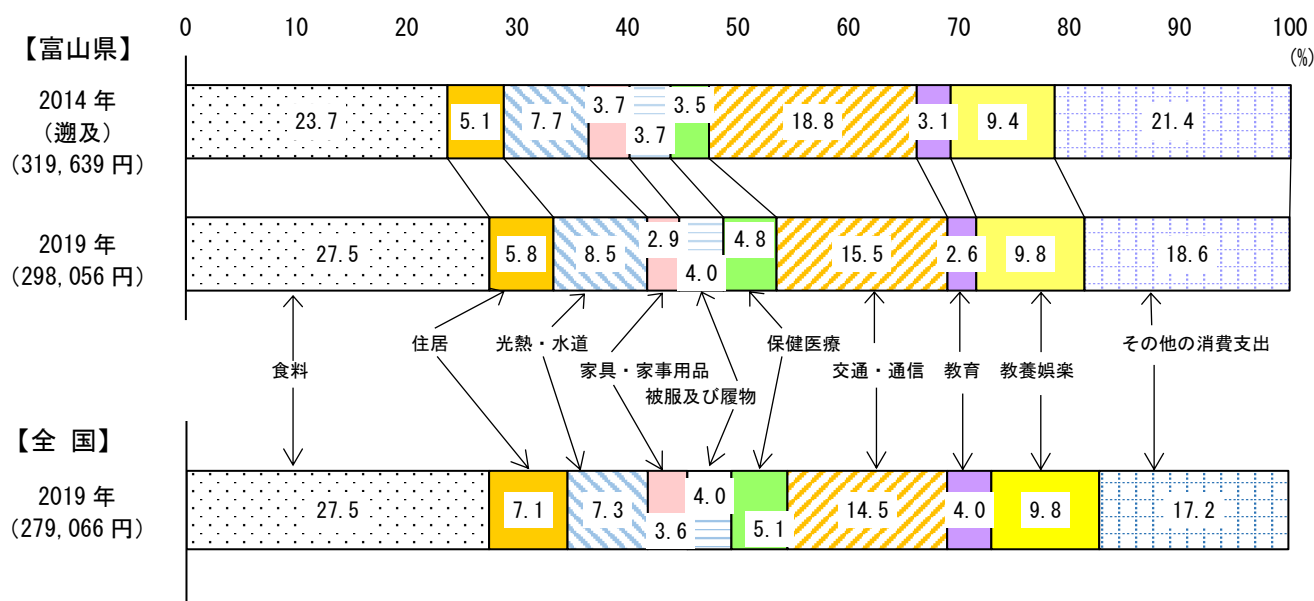
注 2 消費税率の改定について

2014 年 4 月 1 日に 5%から 8%への改定、2019 年 10 月 1 日に 8%から 10%への改定が行われている。

注 3 その他の留意事項

2019 年 10 月に消費税率が改定されたが、食料品などでは軽減税率の適用により消費税率が変わらなかったほか、幼児教育が無償化されるといった制度改正も行われている。

図1 費目別消費支出の割合（二人以上の世帯）



(2) 食料への支出

「菓子類」、「調理食品」への支出金額が全国第2位

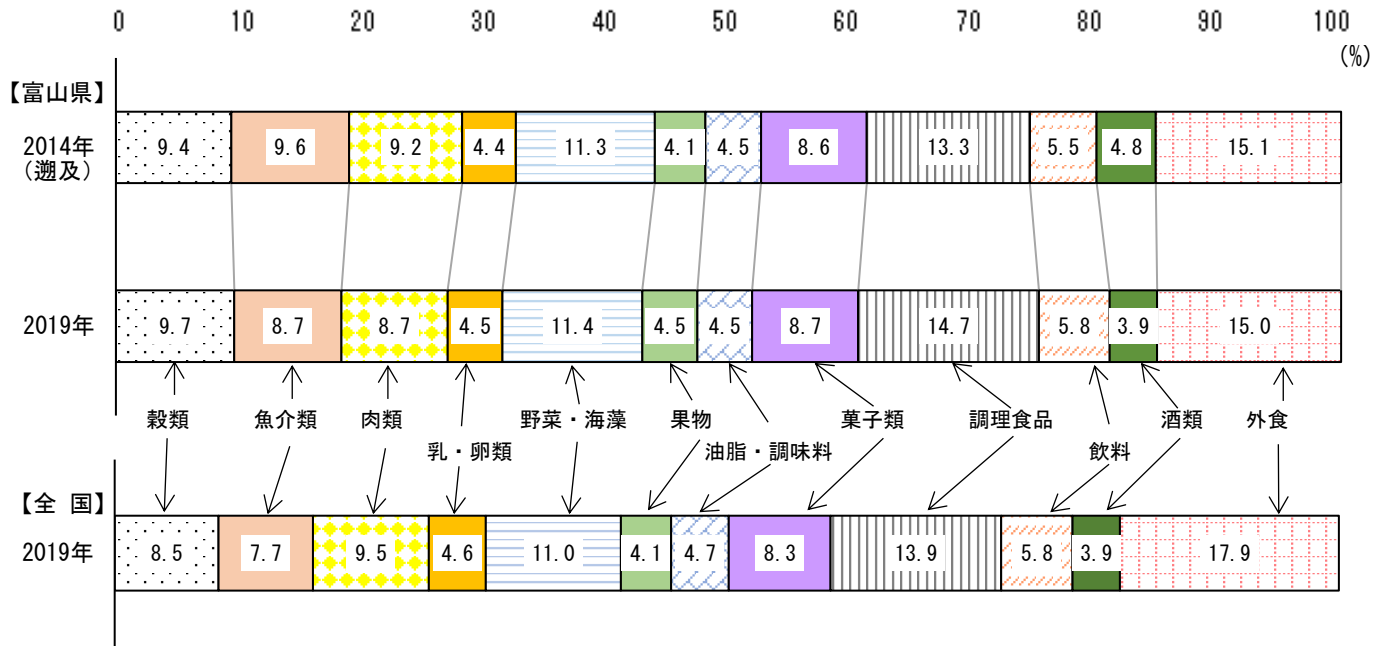
二人以上の世帯の1世帯当たり1か月平均の食料の支出金額が大きい項目（中分類別）を全国と比較すると、「菓子類」、「調理食品」が第2位、「穀類」、「魚介類」が第3位となった（表2）。

また、支出割合で見ると、「外食」への支出の割合が全国で17.9%であるのに対し、本県では15.0%と低くなっている（図2）。

表2 食料の中分類別支出金額（二人以上の世帯） (円)

	富山県				全国
	2014年(遡及)	順位	2019年	順位	2019年
穀類	7,131	12	7,917	3	6,498
魚介類	7,289	3	7,161	3	5,920
肉類	6,984	28	7,092	29	7,257
乳卵類	3,312	31	3,665	14	3,555
野菜・海藻	8,588	8	9,344	5	8,461
果物	3,137	20	3,686	5	3,141
油脂・調味料	3,427	35	3,661	16	3,622
菓子類	6,539	10	7,093	2	6,372
調理食品	10,077	7	12,078	2	10,679
飲料	4,132	7	4,723	9	4,466
酒類	3,653	12	3,179	15	2,961
外食	11,454	24	12,296	21	13,714

図2 食料の中分類別支出割合（二人以上の世帯）



2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の収入と支出

(1) 収入

実収入は 560,554 円で全国第 7 位、可処分所得は 468,332 円で全国第 3 位

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入は 1 世帯当たり 1 か月平均 560,554 円で、全国第 7 位となった。

実収入に占める収入を種類別にみると、「世帯主の勤め先収入」(313,025 円)は全国平均を下回っているが、「世帯主の配偶者の勤め先収入」(102,777 円)及び「他の世帯員の勤め先収入」(55,936 円)は全国平均を上回っている。

また、実収入から税金などの非消費支出を引いた可処分所得は 468,332 円で、全国第 3 位となった(表 3、図 3)。

表 3 家計収支と内訳(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項目	富山県				増減率(%)		全国 2019年
	2014年(遡及)	順位	2019年	順位	名目	実質	
世帯人員(人)	3.46	4	3.32	7	-	-	3.17
有業人員(人)	2.00	3	2.03	1	-	-	1.83
世帯主の年齢(歳)	49.2	4	50.8	2	-	-	49.2
実収入(円)	530,273	2	560,554	7	5.7	1.9	531,382
勤め先収入	441,435	12	471,737	11	6.9	3.1	468,937
世帯主の勤め先収入	314,245	30	313,025	34	-0.4	-4.0	362,212
世帯主の配偶者の勤め先収入	85,264	6	102,777	2	20.5	16.2	78,201
他の世帯員の勤め先収入※1	41,926	2	55,936	1	33.4	28.6	28,525
勤め先収入以外※2	88,838	1	88,817	4	0.0	-3.6	62,444
可処分所得(円)	444,655	1	468,332	3	5.3	1.5	438,768
消費支出(円)	337,646	1	289,241	19	-14.3	-17.4	289,503
食料	75,841	11	79,562	4	4.9	-5.7	76,185
住居	10,579	47	12,642	43	19.5	13.8	20,929
光熱・水道	24,056	5	23,515	3	-2.2	-3.4	19,596
家具・家事用品	13,142	2	9,203	34	-30.0	-28.1	9,711
被服及び履物	13,889	22	13,428	5	-3.3	-5.3	12,255
保健医療	10,955	32	12,602	18	15.0	8.6	12,718
交通・通信	66,631	2	46,731	28	-29.9	-27.1	45,549
教育	13,572	24	10,211	32	-24.8	-29.3	15,370
教養娯楽	30,878	5	29,544	10	-4.3	-8.7	27,698
その他の消費支出	78,102	1	51,803	20	-33.7	-36.1	49,490
非消費支出(円)	85,619	15	92,222	16	-	-	92,614
平均消費性向(%)	75.9	25	61.8	41	-	-	66.0
エンゲル係数(%)	22.5	44	27.5	8	-	-	26.3

※1 「他の世帯員の勤め先収入」…2019年調査において調査票の様式変更が行われ、前回(2014年)調査に比べて記入漏れが減少したことが結果に影響しているとみられる。

※2 「勤め先収入以外」…「事業・内職収入」、「他の経常収入」、「特別収入」の合計

注 1 2014年調査の遡及数値について

2014年調査では家計簿調査の調査期間が9~11月の3か月間であったが、今回(2019年)の調査から10~11月の2か月間となる等、調査内容が変更となったため、2014年調査の結果については、「2019年調査の集計方法による遡及集計」を用いている。

なお、遡及前の数値(富山県分)については以下のとおり。

実収入 554,130 円(全国第 1 位)、可処分所得 464,635 円(全国第 1 位)

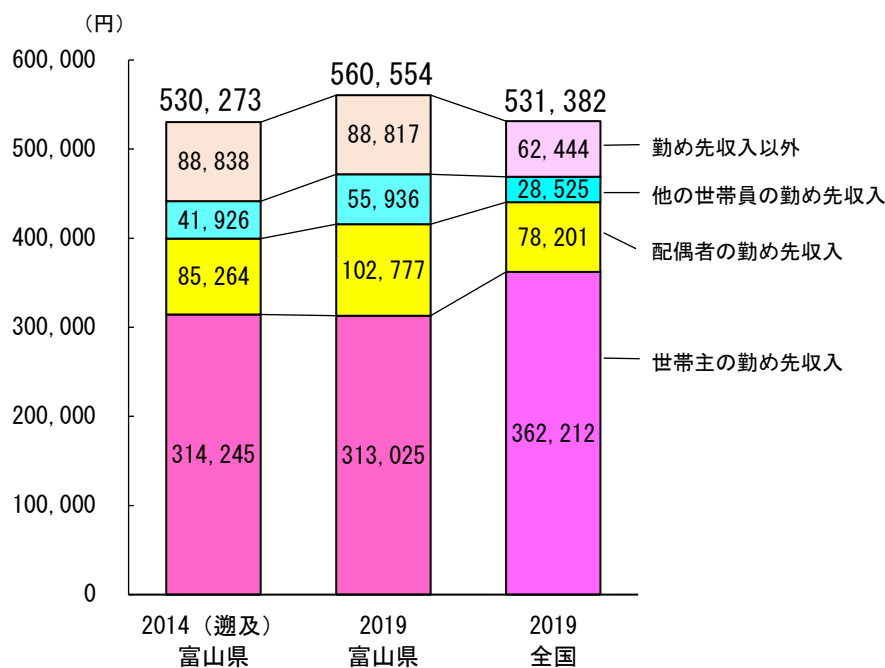
消費支出 342,680 円(全国第 2 位)

注 2 消費税率の改定について

注 3 その他の留意事項について

} p.2 のとおり

図3 実収入の内訳（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



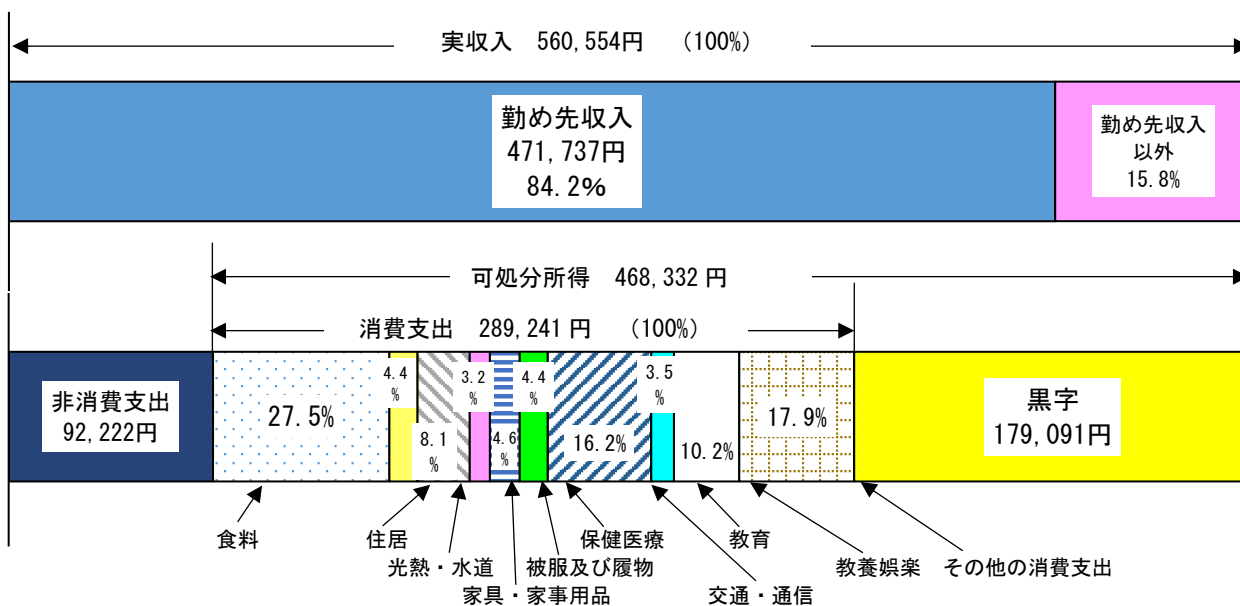
(2) 消費支出

勤労者世帯の消費支出は 289,241 円で、全国第 19 位

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の 1 世帯当たり 1 か月平均消費支出は 289,241 円で、全国第 19 位となった。2014 年と比較すると、名目で 14.3%の減少、実質で 17.4%の減少となっている。

消費支出に占める費目別割合をみると、「食料」(27.5%)、交際費などの「その他の消費支出」(17.9%)、「交通・通信」(16.2%)が高くなっている(表3、図4)。

図4 家計収支の構成（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



用語の解説

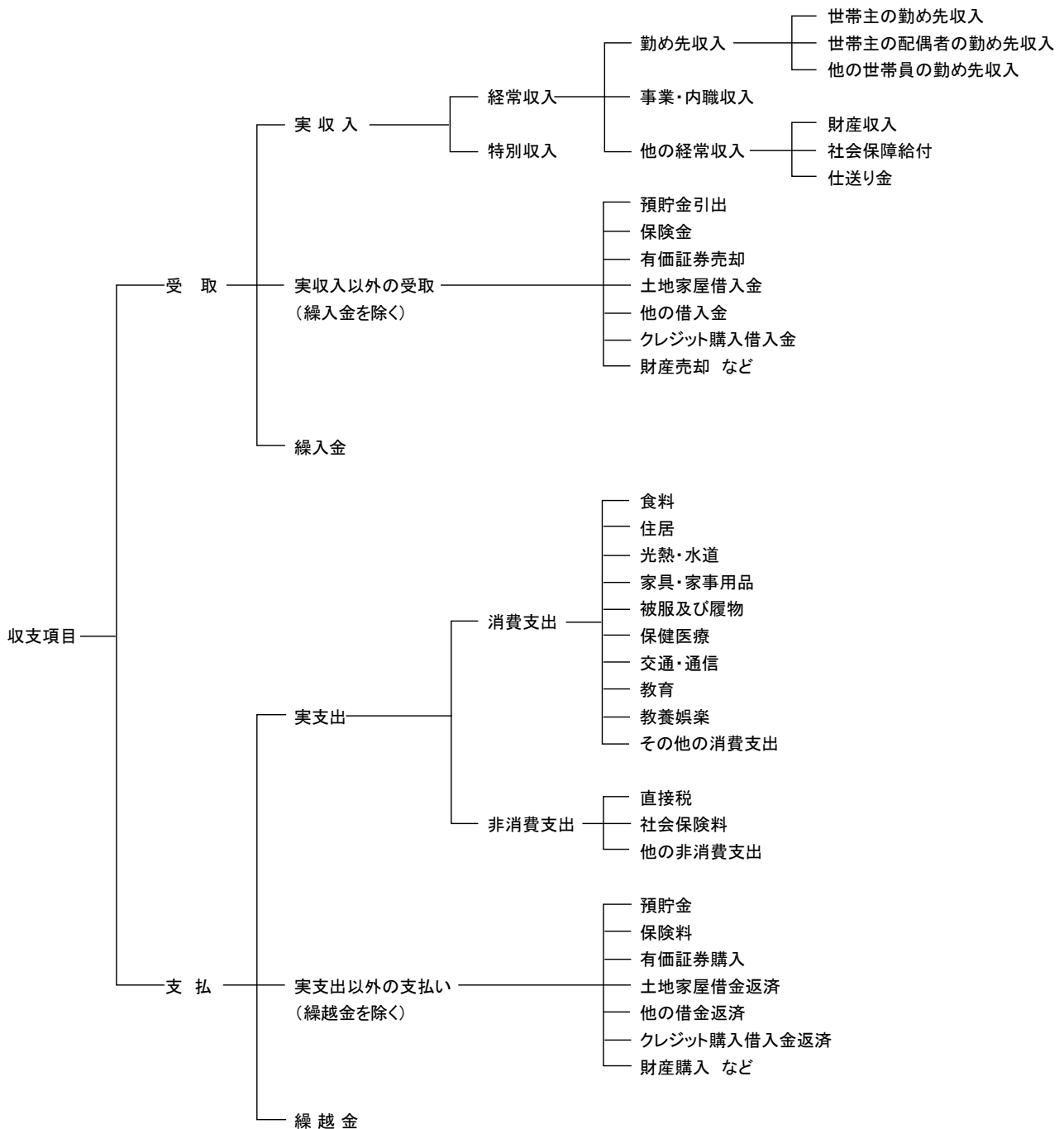
1. 世帯の区分

勤労者世帯	世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに勤めている世帯
無職世帯	世帯主が無職の世帯
その他の世帯	勤労者世帯及び無職世帯以外の世帯（世帯主が社長、取締役、会社団体の役員などである世帯を含む）

2. 用語の説明

実収入	世帯員全員の現金収入（税込み）を合計したもので、経常収入（勤め先収入、事業・内職収入、他の経常収入）と特別収入からなる。
可処分所得	実収入から税金、社会保険料などの非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のこと。 可処分所得＝実収入－非消費支出
消費支出	いわゆる生活費のことで、内容を大きく分けると、食料、住居、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、交通・通信、教育、教養娯楽、その他の消費支出の10項目からなる。
非消費支出	税金、社会保険料などのこと。
平均消費性向	可処分所得に対する消費支出の割合。 平均消費性向＝ $\frac{\text{消費支出}}{\text{可処分所得}} \times 100$
エンゲル係数	エンゲル係数＝ $\frac{\text{食料}}{\text{消費支出}} \times 100$
名目増減率	1世帯当たりの収入（勤労者世帯のみ）及び支出金額の増減率。
実質増減率	物価水準の変動の影響を除去した増減率。 実質増減率＝ $((100 + \text{名目増減率}) \div (100 + \text{各項目に対応する消費者物価指数の変化率}) - 1) \times 100$

3 収支項目分類体系図



※ 本資料上の図表について、金額及び構成比は表示単位に四捨五入してあるので、内訳の計は必ずしも合計に一致しない。

◆この概要は、総務省統計局「2019年全国家計構造調査結果」より作成しています。

◆「2019年全国家計構造調査結果」の結果は、以下のURLでもご覧になれます。

・富山県ホームページ「とやま統計ワールド」

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/lib/zenkokukakei/index.html>

・総務省統計局 ホームページ

<https://www.stat.go.jp/data/zenkokukakei/2019/index.html>